



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 天馬株式会社

上場取引所 東

コード番号 7958 URL <https://www.tenmacorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣野 裕彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 須藤 隆志

TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	34,995	18.4	779	51.1	939	45.8	284	80.3
2020年3月期第2四半期	42,901	6.5	1,592	221.6	1,734	116.9	1,437	182.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 623百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 807百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	11.86	
2020年3月期第2四半期	59.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	89,162	71,742	80.5	3,033.74
2020年3月期	94,543	74,156	78.4	3,073.41

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 71,742百万円 2020年3月期 74,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		40.00		40.00	80.00
2021年3月期		40.00			
2021年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,600	16.5	2,000	34.8	2,300	36.1	2,000	20.1	84.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	26,813,026 株	2020年3月期	26,813,026 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	3,164,948 株	2020年3月期	2,684,867 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	23,918,251 株	2020年3月期2Q	24,128,426 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象等)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大の影響により経済活動が停滞しました。中国では感染症の収束とともに、景気も回復基調となりましたが、欧州では感染症の再拡大により予断を許さない状況となっております。また、米中貿易摩擦の長期化・深刻化等の景気下振れ要因も併存しており、先行きは不透明感が増す状況が続いております。

日本経済におきましては、緊急事態宣言が解除され段階的に経済活動が再開されたことにより、景気は持ち直しの動きが見られましたが、依然として感染症再拡大のリスクが残り、景気低迷の長期化が懸念される状況となっております。

このような状況の中、当社グループにおきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により中国及び東南アジアにおいて受注が大きく減少しましたが、感染拡大防止に努めるとともに、業務効率化、自動化の推進及び固定費削減に努めてまいりました。

この結果、売上高は34,995百万円(前年同期比81.6%)となり、営業利益は779百万円(前年同期比48.9%)、経常利益は939百万円(前年同期比54.2%)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、天馬皇冠精密工業(蘇州)有限公司の解散及び清算手続きの開始に伴い発生した関係会社整理損等を計上した結果、284百万円(前年同期比19.7%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては、緊急事態宣言解除後も、引き続き在宅勤務や自主的な外出自粛から自宅で過ごす時間が長くなる人が多くみられ、日用品需要が急増したホームセンターでの販売を中心に売上が増加しました。一方、工業品合成樹脂製品分野の受注につきましては、車両及び電機電子関連において新型コロナウイルス感染拡大の影響から取引先の減産調整により売上が減少しました。

利益面につきましては、ハウスウエア合成樹脂製品の売上が好調となったこと及び前期から取り組んでいる物流の最適化等の実施により前年同期比で増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、11,342百万円(前年同期比97.9%)となり、セグメント利益(営業利益)は795百万円(前年同期比191.1%)となりました。

(中国)

工業品合成樹脂製品分野においては、新型コロナウイルス感染症の影響による取引先の生産調整が続いていることから、天馬精密注塑(深圳)有限公司を中心に売上が減少しました。また、天馬皇冠精密工業(蘇州)有限公司の解散及び清算手続きの開始に伴い取引先へ受注製品の返却を進めていることから売上が減少しました。ハウスウエア合成樹脂製品分野においては、EC販売は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響からリアル店舗での販売が減少し売上は微減となりました。利益面につきましては、売上の減少及び工場の稼働減少により前年同期を下回る結果となりました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響による工場の稼働停止期間の固定費につきましては特別損失に計上しております。

この結果、当セグメントの売上高は、8,471百万円(前年同期比68.4%)となり、セグメント利益(営業利益)は368百万円(前年同期比58.0%)となりました。

(東南アジア)

東南アジアの各拠点においては、本年3月頃から新型コロナウイルス感染症の影響が出始めており、その影響が長期化している状況となっております。このような状況の中、工業品合成樹脂製品分野において、新型コロナウイルス感染症の影響による取引先の生産調整により売上が大幅に減少しました。利益面につきましては、工場の稼働減少に伴う固定費負担を減少させるため経費削減に努めましたが、生産調整による減収を吸収しきれず、前年同期を大きく下回る結果となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、15,182百万円(前年同期比80.2%)となり、セグメント利益(営業利益)は245百万円(前年同期比23.9%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて5,381百万円減少し、89,162百万円となりました。これは、建物及び構築物(純額)が1,115百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が4,052百万円、機械装置及び運搬具(純額)が858百万円、現金及び預金が854百万円、それぞれ減少したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,968百万円減少し、17,419百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2,591百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,414百万円減少し、71,742百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が1,200百万円減少し、控除項目である自己株式が823百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「2021年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,995,694	30,142,098
受取手形及び売掛金	16,897,456	12,845,387
商品及び製品	2,636,264	2,656,634
仕掛品	661,842	644,413
原材料及び貯蔵品	3,664,622	3,129,663
その他	1,588,130	1,515,258
貸倒引当金	△1,941	△1,743
流動資産合計	56,442,067	50,931,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,722,636	13,837,573
機械装置及び運搬具(純額)	10,269,389	9,411,251
使用権資産	3,806,795	3,534,284
その他	3,736,058	3,369,358
有形固定資産合計	30,534,878	30,152,465
無形固定資産	3,001,982	2,915,141
投資その他の資産		
投資有価証券	3,062,957	3,536,973
退職給付に係る資産	1,017,061	1,028,052
繰延税金資産	60,147	214,543
その他	430,528	389,299
貸倒引当金	△6,650	△6,566
投資その他の資産合計	4,564,043	5,162,301
固定資産合計	38,100,903	38,229,907
資産合計	94,542,970	89,161,617
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,127,927	6,536,486
未払法人税等	337,519	403,413
賞与引当金	920,636	840,861
租税関連費用引当金	150,141	149,872
関係会社整理損失引当金	—	232,974
その他	4,340,681	4,154,855
流動負債合計	14,876,904	12,318,461
固定負債		
長期未払金	256,695	22,531
役員株式給付引当金	99,324	31,670
退職給付に係る負債	329,505	339,933
リース債務	3,599,482	3,388,478
資産除去債務	218,557	220,356
繰延税金負債	1,006,665	1,026,581
事業構造改善引当金	—	71,451
固定負債合計	5,510,229	5,101,000
負債合計	20,387,133	17,419,460

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	17,531,538	17,531,538
利益剰余金	39,298,419	38,614,088
自己株式	△3,954,500	△4,777,740
株主資本合計	72,100,807	70,593,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	229,092	544,652
為替換算調整勘定	1,664,951	464,960
退職給付に係る調整累計額	160,913	139,241
その他の包括利益累計額合計	2,054,956	1,148,853
非支配株主持分	74	67
純資産合計	74,155,837	71,742,157
負債純資産合計	94,542,970	89,161,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	42,900,709	34,994,817
売上原価	35,631,076	28,474,493
売上総利益	7,269,633	6,520,324
販売費及び一般管理費	5,677,444	5,741,680
営業利益	1,592,189	778,644
営業外収益		
受取利息	79,738	82,350
受取配当金	66,209	65,963
持分法による投資利益	12,311	—
為替差益	—	8,842
その他	63,073	94,564
営業外収益合計	221,332	251,718
営業外費用		
支払利息	14,818	41,728
売上割引	43,421	42,852
持分法による投資損失	—	1,175
為替差損	20,659	—
その他	1,042	5,147
営業外費用合計	79,939	90,902
経常利益	1,733,582	939,460
特別利益		
固定資産売却益	113,023	19,847
補助金収入	—	19,755
特別利益合計	113,023	39,602
特別損失		
固定資産売却損	7,910	1,858
固定資産除却損	41,026	4,226
関係会社整理損	—	263,751
事業構造改善引当金繰入額	—	71,451
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	187,748
特別損失合計	48,935	529,034
税金等調整前四半期純利益	1,797,670	450,027
法人税等	360,656	166,435
四半期純利益	1,437,013	283,592
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,437,011	283,595

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,437,013	283,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,737	315,560
為替換算調整勘定	△586,146	△1,178,348
退職給付に係る調整額	△35,071	△21,672
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△21,647
その他の包括利益合計	△629,954	△906,107
四半期包括利益	807,059	△622,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	807,057	△622,507
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、2020年3月13日付にて第三者委員会から調査報告書を受領し、当社の海外子会社において税務調査等に関連して外国公務員に対する複数の金銭交付あるいはその疑いのある行為が行われていた旨の調査結果が報告されました(調査報告書(公表版)については2020年4月2日付にて公表しております)。当社としては、ステークホルダーの皆様および社会からの信頼回復を目指し、全社一丸となって2020年5月1日付にて公表しました再発防止に取り組んでおります。当該事案に関して、今後、当社に制裁金が科されるおそれがありますが、関連する法的手続は多くの不確実性及び複雑な要素を含んでおり、現時点でその影響額を合理的に見積ることは困難であるため、連結財務諸表には反映していません。また、海外子会社の所在地国においても現地において類似の制裁金が科されるおそれがありますが、現時点ではその影響額を合理的に見積ることは困難であるため、連結財務諸表には反映していません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の購入)

1. 2020年5月27日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により当社普通株式305,200株を総額520百万円にて取得し、自己株式が同額増加しました。
2. 2020年8月7日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の市場買付により、当社普通株式210,700株を総額385百万円にて取得し、自己株式が同額増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間末において、自己株式は4,778百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の会計上の見積りに与える影響)

新型コロナウイルスの感染拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、当社グループの一部の拠点においても、各国政府からの感染拡大抑制の指示による移動等の自粛や取引先での生産調整等から、工場の稼働に影響が出ております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期及び今後の当社グループに対する業績への影響を合理的に予測することは現時点では困難な状況にありますが、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損に関する判断に関しては、現時点で入手可能な外部の情報源に基づき影響を分析・評価した結果、2021年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続すると仮定して、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、翌四半期以降の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(連結子会社の解散)

2020年5月15日開催の取締役会において決議し、2020年3月期決算短信の(重要な後発事象)にて記載いたしました子会社の解散について、現在精査中としておりました当該解散による損益への影響について算定が完了いたしました。当該連結子会社である天馬皇冠精密工業(蘇州)有限公司の土地収用に伴い、固定資産売却益727百万円及び関係会社清算益200百万円を2021年3月期連結決算において特別利益として計上する見込みです。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,587,000	12,377,614	18,936,096	42,900,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,801	78,882	81	126,763
計	11,634,800	12,456,496	18,936,177	43,027,473
セグメント利益	416,200	633,696	1,025,073	2,074,968

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,074,968
セグメント間取引消去	11,582
全社費用(注)	△494,361
四半期連結損益計算書の営業利益	1,592,189

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,341,860	8,470,728	15,182,229	34,994,817
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,691	132,882	—	179,573
計	11,388,551	8,603,610	15,182,229	35,174,390
セグメント利益	795,497	367,760	245,176	1,408,433

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,408,433
セグメント間取引消去	△261
全社費用(注)	△629,528
四半期連結損益計算書の営業利益	778,644

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。